

アスペン市中学生短期交換 留学事業（派遣）報告



1月5日から15日まで、姉妹都市の米国アスペン市へ、村から10名の中学生と3名の引率者が訪問しました。

ホームステイ

占冠中学校 金森 愛奈

私は初めてアメリカに行って、外国に対するイメージが変わりました。

最初は、外国人は怖くて冷たい人が多いと思っていました。けれど、アスペンの人のほとんどがとても優しく、怖い人が1人もいませんでした。

アスペンの人はとてもフレンドリーで、目が合ったら笑ってくれたり、日本語を使って自己紹介してくれたり、困っていたらジェスチャーなどを使って一生懸命教えてくれたりしていました。私の場合、日本で外国の子に会ったら話しかけたりすることができないと思うので、アスペンの人を見習って、親しく接することができるようになったらいいと思っています。

ホストファミリーに初めて会う時、優しい人なのか、仲良くなれるのかと少し不安でした。けれど、たくさん話しかけてくれたり、私が正しくない英語で話しているのを、一生懸命聞いてくれて、家族のように過ごすことができました。

私がアスペンで一番嬉しかった出来事は、ホストファミリーが私の大好きなクロワッサンを毎日朝ごはんに出してくれたことです。フランニーが占冠にホームステイしていた時、私がクロワッサンが好きなことを言いました。そのことを覚えていてくれて、帰国後、「アスペンに来た時、クロワッサン焼いてあげる」とフランニーのお母さんからメールが届きました。そして本当に焼いてくれたのでとても嬉しかったです。

たです。そして、とてもおいしかったです。

このようなことを経験して、自分の好きなもの、嫌いなものについて相手とたくさん話し合い、お互いのことを分かり合うことが大切だと思いました。

このような素晴らしい体験をさせていただき、アスペン交換留学の関係者の皆さん、先生方、家族、ホストファミリーに心から感謝します。この経験はずっと忘れません。

アスペン

占冠中学校 高橋 美咲

私は、8日間アスペンに行ってきた皆さんの思い出ができました。特に印象に残った思い出は、2つあります。1つ目は、スキーをしたことです。私は、アスペンマウンテンとスノーマス

でスキーをしました。最初は、日本のスキー場と違って雪が少ないし、すごく広いので転んで怪我をしたり、迷ってしまったりする心配でした。しかし、周りに気を付けて滑ったり、アスペン生と一緒に滑ってくれたりしたので、心配事を忘れるくらい楽しかったです。2つ目は、ホストファミリーと過ごしたことです。休みの日には、スキーやスケート、スノーボードの大会を見に行ったり、夜はたくさんさんのアメリカ料理を出してくれました。ジェンマとは、一緒にテレビゲームやトランプ、クライミングなどたくさんすることができました。

アスペンで学んだことは、日本との

違いです。食べ物の大きさや量、気温、生活などたくさん違いがあります。私たちが行っている学校にも違いがありました。日本の学校に無い教室があったり、昼食がお弁当やバイキングになっていたりしました。他にも、アスぺンの人に関わらず、外国人はどんな人でもフレンドリーでした。

私は今後、今よりもっと英語の勉強を頑張りたいです。アスペンから帰ってきて、アスペン生やホストファミリーともっと話ができればよかったです。後悔をしたので頑張りたいです。他に、外国のマナーなどを詳しく知りたいです。外国についてたくさん知り、またアスペンに行きたいです。

アスペンに行つて

占冠中学校 森 颯人

僕はアスペンに行つてホームステイをして学んだことはアメリカの文化です。

アメリカのご飯を食べる時にお皿を持たないことが分かりました。日本ではお皿を持ってご飯を食べますが、アメリカではお皿を持って食べると貧しい人に見えてしまうらしいのでお皿を持って食べないのです。他にも道路の雪かきで、はねた雪をどこに置かかです。日本では歩道にのせていますが、アメリカでは車道の端っこにのせています。何故かは分かりませんが、歩道より車道の方が大きな除雪機が入れるのでとても楽に除雪ができるというメリットがある一方で、デメリットもあります。そのデメリットとは、車道が

狭くなるという事です。このように日本とアメリカにはたくさん違いがあります。

最後に、このような日本とアメリカの違いに触れさせていただいたり、貴重な体験をさせていたいただき本当にありがとうございます。

アスペン交換留学を終えて

占冠中学校 赤石 羽紗

アスペンの市街地の高度は、2405メートル、スノーマスマスキー場の山頂の高度は、一番高いところで3750メートルです。これは、富士山の山頂とほぼ同じくらいの高さになります。占冠村の高度はたった332メートルです。私は、アスペンに行く前の講習会で、アスペンはとても高いところにあるので、水をたくさん飲まないといけないので、水をとくという事を知りました。私は普段から飲み物をあまり飲まないで、気を付けて水を飲んでいました。スキー場に行つたときに高山病になってしまいました。症状は、強い吐き気と頭痛、くらくらするというものでした。ホストファミリーに話して、家に帰つても症状は治まりませんでした。一度なつてしまうと、すぐには治らないということを知りました。

自分ではたくさん水を飲んでいても、実際はもっと飲まないといけなかったということなのかなと思いました。それと、スキー場には水を持っていくことが難しいので、行く前や車の中でたくさん飲んでおくか、他に

何かいい対策を考えたらいいのではないかともしました。

アスペン交換留学では本当にたくさんのお話を学びました。そして、伝えたいことがうまく伝わらず、もっと英語を学びたいという気持ちになりました。中学2年生のうちから、こんなに身近に英語を感じることができてよかったです。本当にありがとうございます。

アスペンの大きさ

占冠中学校 中本 日菜

私のアスペンでの目標は3つありました。1つ目は占冠の人とばかりいなことです。私はアスペン生と大体一緒についてアメリカをずっと感じる事が出来て良かったです。

2つ目は思いっきり楽しむことでした。ホストファミリーと話したり友達の家に行つたり家族とゲームをしたりと、とても充実していました。

3つ目は英語をたくさん聞いたり話したりすることでした。私に話してくれているときもそうでないときも、理解することが出来ました。

今回嬉しかった事はホストファミリーに日本のお土産を渡したことです。なぜならとても喜んで遊んでくれたり使ってくれたりしたからです。

アスペンでの思い出は2つあります。1つ目はなんといってもアイスシューを見たことです。ホストファミリーが出ていてとても楽しむことが出来ました。そのショーの前の日の練習も見ていたのです。すごいなと感動しまし

た。また本番を2回も見つたらかなと思つたけれど、友達と一緒にいる時と家族と一緒にいる時は全く違う程度見ても楽しかったです。

2つ目は犬と触れ合つたことです。私は動物が苦手で、大きな犬は予想どおりでこわかったです。だからホストファミリーにはとても迷惑をかけてしまうなと思つていましたが、友達の家犬に少し慣れることが出来て、ホストファミリーの犬にも触ることが出来ました。それから少しづつ慣れて最後の日には普通に触ることが出来たし、犬も私に家族と同じように接してくれたのでうれしかったです。

日本に帰ってきてからはとてもさみしくて何もしたくなくなるぐらいでした。将来、絶対家族とアスペンに行く！と決めたのでそれまで英語の勉強に励みたいです。

学んできたこと

占冠中学校 山本 萌

私はアスペンに行つて色々なことを学びましたが、その中でも、私はアニメーションが好きなので『日本とアメリカのアニメーションの違い』について感じたことを報告します。

例えば、日本のアニメーションは影が多めで、光を強調するものが多いです。更に、服や髪の毛の揺れ方がキャラクターの動きに合わせています。一方で、アメリカのアニメーションは影が少ない、または無いので優しい雰囲気があります。そして、口や目など、大きく動く部分の動きを目立たせるも

が多かったです。

他に、日本での子ども向けは教育バラエティーが多く、目や髪に光があることが多いです。アメリカは3Dアニメーションが多く、目や髪に光があまり無い、などの様々な違いを感じました。これらのように、国によって異なる技術で、アニメーションは作られていると実感しました。

今回を通して、日本のアニメーションは作画に魅力があり、アメリカのアニメーションはおもしろさで視聴者を惹きつける様なイメージが出来ました。そして今回、アスペンに行つて『日本のアニメーションの長所』がわかりました。それは『目の描き方が細かいこと』と『作画がリアルなこと』です。日本のアニメーションは、目に様々な色が使われ、しかも動くという高い技術を使っていることと、キャラクターの関節や表情、動きがしっかりしていることに気付くことが出来ました。

アスペン

占冠中学校 杉岡 春奈

私は、交換留学という貴重な体験を通じて様々な事を学んできました。

最初に、アスペンの気候についてです。アスペンは標高が高く、空が澄んでいて景色もきれいでした。そこでは、すぐに息切れを感じました。スキー場では、頭痛や吐き気もしました。アスペンで実際に生活していくには、

水を寝る時もそばに置いたり、こまめに水分補給をしなければいけないので大変だと感じました。

次に、交通の違いについてです。まず、日本とは逆の右側通行で、信号機にも違いがありました。横断歩道では、青信号の時間を数字でカウンタダウンして表示しています。表示されていると、残り時間がわかりやすく便利だと感じました。横断歩道の白線も日本より幅が広がりました。駐車スペースは、斜めに線が引かれていて車を斜めに駐車していました。それは、車線を間違わないようにするためでもあるように感じました。

アスペンで楽しかった思い出は、ホストファミリーとの毎日の生活です。食事をしたりゲームをしたりお話をしたり、すべてが楽しく充実してました。スキー場では、日本よりも広くコースも長く満喫できました。そこで食べた食事もおいしく、食べたかったハンバーガーを4回も食べることが出来ました。そしてショッピングでは、占冠のみんなでアスペンショッピングに行つてお土産を買ったりなどしてとても良い思い出になりました。

お別れは、とても寂しく帰りたいくらいでした。

これからは、英語をもっと身につけてコミュニケーション能力を高めているような場面で活かしていきたい自分になりたいです。

最後に、今回はこのような貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。この体験をこれから活かしていきます。

アスペンを終えて

占冠中学校 杉岡 若奈

私はアスペンで沢山のことを学びました。特に、印象的なのはアスペンのお店についてです。アメリカの商品はどれも日本の商品と比べても大きかったです。また、ショッピングカートも大人が入れる位の大きなものがおおよそ百台もありました。商品は背が高い人でも届かない位、高い所に陳列されているため、いちいち店員を呼んで取ってもらわなければなりません。日本と違って、気軽に頼めなくて大変だと思いました。レジは、店員さんがいるレジと機械のセルフレジが何個もあるため混雑も少なくスムーズに会計が出来ました。私がセルフレジの機械の使い方です。困っていると店員さんが親切に手伝ってくれました。親切さは、私が思っていたよりも、日本と変わりません。お菓子など大袋の物が多く、小分けにして毎日学校にも持ち歩く感じでした。

ホストファミリーとの思い出もたくさんできました。日常生活を共に過ごした時間、プール、スキー、スノーボード観戦など他にも沢山の思い出と一緒に作りました。アスペンで過ごした時間は、私にとつてとても短く感じました。一緒に生活していると言葉に困った時もあり、自分の気持ちをより伝えるためには英語の勉強をもっと頑張らなくてはならないと気づかせてもらいました。ホストファミリーは、私をとても温かく受け入れてくれました。またいつか必ず会いたいです。

最後に、交換留学という貴重な体験

と、ホストファミリーとの素敵な出会いを与えてもらった事に感謝しています。この貴重な体験を活かし、これから色んな場で積極的にチャレンジしていきたいです。またホストファミリーと会える様に頑張っていきたいと思います。

アスペンでの思い出

占冠中学校 渡辺 翔輝

僕がアスペンで思い出に残っていることは、ウエルカムパーティーです。とても料理が美味しく、他のアスペン生とゲームをして、楽しかったです。スピーチもうまくいって、良かったです。

2つ目は、アスペンマウンテンで2回、スノーマスで1回スキーをしたことです。アスペンマウンテンでは、いろんなコースを滑ったり、お昼ごはんは、占冠の生徒とアスペンの生徒と一緒にピザを食べました。とても楽しかったです。スノーマスでは、アスペン生全員と滑りました。コースが広くとても滑りやすかったです。スキーをした後、ジェットコースターに乗りました。凄いスピードと遠心力でぶっ飛びそうでした。

3つ目は、ショッピングです。物の値段が高かったです。ストラップやマグネットがとてもオシャレで、もうちょっと買ってあげれば良かったです。

4つ目は、ホストファミリーと一緒に過ごしたことです。朝ごはんや夜ご飯は、食べたことのない料理を出してくれました。味がとても濃くて美味しかったです。カーキーとバスケットもしました。1対1の試合をやりました。風

邪を引いたときには飲物を用意してくれたり、タブレットを貸してくれて映画を見たり、ユーチューブを見たりしました。本当に優しくしてくれました。

頑張りたいと思ったことは、英語の勉強です。言葉がわからなかったら、ジェスチャーをして伝えたので、今度は、しっかり英語を勉強して、コミュニケーションを取れるように頑張りたいです。今度は家族で行きたいです。

アスペンでの思い出

トナム学校 佐藤 初香

私は兄がアスペンに行った2年前から、アスペンに行きたいとずっと思っていました。だから、今回アスペンに行けたことが、とてもうれしかったです。

アスペンに着いて一番はじめに驚いたことは、景色がとてもきれいだということ。空は雲の形がくっきりとしていて、街の中はイルミネーションで光っていました。スキー場の中も、コース以外の地面はタイルで作られており、お店に置いてある商品は、どれもオシャレで、かわいいものばかりでした。

2つ目に驚いたことは、学校にいるアスペンの子たちがとてもフレンドリーだったことです。英語をあまり話せない私にも簡単な英語でたくさん話しかけてくれました。話す内容はさまざまで、アスペンの良いところを話すことや、日本語では何とこのか物の名前を質問する子もいました。それらを聞いてみると、アスペンの子は、日本に

関心がある子が多いんだと、強く感じました。中には自己紹介を日本語でできる子もいて、凄いなと思いました。

私は、私たちを受け入れてくれたホストファミリーの方々も凄いなと思いました。いつも笑顔で話しかけてくれて、体調のことも気にかけてくれたからです。デヴィンのお母さんであるナタシャは、アレルギーがある私のために、食べ物を細かく説明してくれました。それを見ていて私は、こんなに優しいホストファミリーと出会えてよかったです。日本に帰りたいと思えるほど、ホストファミリーとの良い思い出を作ることができました。

このようなすばらしい経験をさせていただき、ありがとうございます。

Second time

引率 占冠中学校 山口徹也

「懐かしい。」

海外旅行なんて自分では一度も行ったことがないのに、そんな風に思える場所が日本の外にありました。幸いにも、占冠中学校に来て二度目の二年生担任として、二度目のアスペンに行かせていただくことができたからです。

二年前に行った時は、記録や金銭の管理をするサポーター役として行きました。初めての海外引率ということ、今年よりはるかに緊張して臨んだことを覚えていきます。メインの先生の指示に従い、必死に後ろをついて行く姿はさながら中学二年生。引率していたのか、されていたのか……

今年主となる立場で行かせていた

だきました。二度目ということ之余裕があるかと思いきや、往路はコーリーさん不在ということで、大きな不安の中での旅でした。トナム学校の佐久間先生と協力して（大変親切にいただいた現地ガイドの中村さんのお力もあつて）デンバーを乗り切ることができ、本当によかったです。今年は、「引率してきた」と胸を張って言えそうです。

アスペンに着いてからは、懐かしさだけでなく、新たな発見や気づき、学びがたくさんありました。それは生徒達も同じだったようで、感嘆の吐息を洩らす姿をたくさん目撃しました。海外には、日本で長く生きていても見ることできないものが、体験することができないことが溢れています。それを見て、経験できる占冠の子も達には本当に幸せだと思えますし、二度も行かせていただいた自分もまた最高に幸せ者だと思えます。

このような貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございます。教育委員会の皆様を始め、お世話になった全ての皆様に感謝申し上げます。

アスペン姉妹都市事業を終えて

引率 トナム学校 佐久間麗唯

今回のアスペン姉妹都市事業が私にとつての初めての海外であること、普段関わりの少ない中学生の引率であること、自分自身うまくコミュニケーションがとれるのか、子どもたちは楽しみながら学習できるかなど、行く前は不安だらけでした。しかし、アスペン

の空港について、その不安は一気に消

えました。空港で再会してから、帰国する瞬間まで、みなさんがとても温かく接してくれて、感謝の気持ちでいっぱいです。帰りの空港で別れを惜しむ姿は、それぞれがまるで本当の家族のように見えました。

学校見学や、町の散策、スキー、姉妹都市会議など、多くの体験をさせていたいただきましたが、中でも印象に残っているのはミドルスクールで行われた、占冠を紹介する授業です。アスペンの教諭が占冠の特色を説明した後、占冠の子たちが、アスペンの子たちにお箸の使い方を教えました。はじめは緊張で顔が強ばっていた占冠の子たちも、次第に、手をとって持ち方を説明したり、英語を使って話したり、逆に日本語の自己紹介を教えたりと積極的に行動していました。たかさんの笑顔が溢れていて、お互いのことを必死でわかり合おうとする姿に心うたれました。英語が少ししか話せなくても、気持ちを通じ合わせることができるということ、まずトライしてみることが大切だということを、身をもって体験することができたのではないかと思います。

最後になりましたが、このような貴重な体験をさせていただいた教育委員会の皆様、温かく見守ってくださった保護者の皆様、支えてくださったコーリーさん、山口先生、本当にありがとうございました。